

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C	令和4年3月31日	
横断的な課題	地域防災力・減災力の強化						
地域重点政策						木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	総務管理・環境課 県民生活係	
事業名	木曾地域職員防災研修会				電話	8-238-2362	
				E-mail	<a href="mailto:kisochi-kenmin@pref.nagano.lg.jp">kisochi-kenmin@pref.nagano.lg.jp</a>		
事業概要等	目的 (目指す姿)	行政職員が、災害について理解を深め、防災意識の向上を図る。					
	現状と課題	近年は、令和元年東日本台風をはじめとして豪雨や台風による洪水氾濫、土砂災害が日本各地で頻発している。 令和3年8月の大雨では土砂流出により木曾地域や諏訪地域でも土砂災害による被害が発生している。降雨時における土砂災害発生の予兆現象の認知方法等について学習することで、降雨時における被害軽減について職員の知識向上を図るとともに、日頃から防災意識を高めることが重要である。					
	内容 (変更後の内容)	木曾地域は谷沿いにある集落が多く、土砂災害のリスクが高いことから、土砂災害に関する知識経験者を講師として研修会(講演会)を実施し、土砂災害に関する知識を向上させる。長野県職員(25名)のほか、町村職員(12名)及び消防本部職員(3名)にも参加を呼び掛け、研修の成果を幅広く地域に還元する(参加人数40名程度)。町村防災担当者は、役場内や消防団の訓練において、研修内容をもとに土砂災害の留意点等を広く伝えていく。 【講演会】(12月9日木曜日) ・演題 「長野県の土砂災害環境と土砂災害発生のメカニズムについて」 ・講師 信州大学学術研究院農学系教授 平松 晋也 氏					
	事業期間	令和3年9月 ~ 令和3年12月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	木曾地域職員防災研修会	研修会の開催	53,780				
	合計		53,780				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	参加者の理解度(5段階アンケートで3以上)		80%	93%	● 達成		
	参加人数		40人	43人	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	土砂災害をメインテーマとした県・町村職員を対象とした防災研修会は近年実施していなかったため、職員の知識の習得や再確認のためには有益であった。 アンケート結果では、「大学の講義のようで、難しかった」との意見もあったが、多くの参加者からは「土砂災害の発生メカニズムを理解できた」「早期避難の重要性を理解」できたなど肯定的意見を得られた。理解度としても、93%が理解度3以上(5段階中)であり、研修会に一定の成果が認められた。						
今後の方向性	職員の人事異動のローテーション等も加味しつつ、複数のテーマをローテーションさせながら毎年同様の研修会を実施し、地方部としての防災力の向上・維持に努めていきたい。						